

問1 南アジアのベンガル湾沿岸に位置するバングラデシュ周辺などで、低平なデルタ地帯に深刻な高潮被害としばしば甚大な人的被害をもたらす、インド洋で発生する熱帯低気圧の呼称は何か。（2015年 全国公立入試 類似）

1. タイフーン                      2. バギオ                      3. サイクロン                      4. ハリケーン

問2 ブラジルのアマゾン川流域において、肉牛の牧草地や農地開発、道路建設、商業的な木材伐採などを目的として大規模な破壊が進行しており、二酸化炭素の吸収源の減少による地球温暖化への影響が国際的に懸念されている、この地域に広く分布する植生は何か。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 寒帯林                      2. 温帯林                      3. 熱帯林                      4. 針葉林

問3 乾燥地域や半乾燥地域において、過剰な人工的水分供給を行うと、毛細管現象によって地下水が地表付近まで上昇し、水分が蒸発した後に地表に塩分が取り残されて作物の生育が困難になる。この環境問題を何とよいか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 土壌の乾燥化                      2. 植生の荒廃化                      3. 土地の砂漠化                      4. 土壌の塩類化

問4 情報通信技術（ICT）や電子商取引の普及は、世界規模での経済活動を活性化させた。しかし、情報インフラの整備状況や個人の利用能力の違いにより、国や地域、社会階層の間で情報技術を利用できる人とできない人の間に格差が生じている。この格差は所得格差の解消を妨げ、むしろ格差を固定化・拡大させる要因となっている。このような情報通信技術の利用機会や活用能力の違いによって生じる格差を何とよいか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. デジタルデバイド                      2. フェイクニュース                      3. フィルターバブル                      4. デジタルタトゥー

問5 東南アジアなどの熱帯・亜熱帯の汽水域に発達し、近年、日本などへの輸出を目的としたエビの養殖池を造成するために急速に伐採・破壊され、生態系の破壊や防災機能の低下が問題となっている森林を何とよいか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 亜熱帯林                      2. 熱帯雨林                      3. マングローブ林                      4. 雨緑樹林

問6 水分を多く含んだ砂質の地盤が、地震の強い揺れによって結合を失い、一時的に液体のように振る舞う現象を何とよいか。この現象は、かつて河川の流路であった場所が埋め立てられた地形や、干拓地、埋立地などで特に発生しやすい。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 構造物損壊                      2. 大規模火災                      3. 市街地火災                      4. 液化化現象

問7 アメリカ合衆国とカナダの国境付近に位置する五大湖周辺の重化学工業地帯などから排出された硫黄酸化物や窒素酸化物は、偏西風によって東方に運ばれ、周辺の湖沼の酸性化や森林の立ち枯れなどの深刻な生態系被害をもたらした。この環境問題に対して、両国は1990年代に協定を結ぶなど、関係国家間の協力によって原因物質の削減と環境改善を進めている。この地球環境問題を何とよいか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 砂漠化                      2. 温暖化                      3. 酸性雨                      4. 塩類化

問8 長年にわたる内戦の影響により、国土に多数の対人地雷が埋設されたままとり、戦後の復興や住民の安全な生活の大きな妨げとなっていた東南アジアの国がある。日本はこの国に対し、地雷撤去活動を支援するための資金援助や、地雷探知機などの資材供与、さらには地雷被害者の義肢製作支援といった政府開発援助（ODA）を実施してきた。この支援対象となった国はどこか。（2010年 全国公立入試 類似）

1. ミャンマー                      2. カンボジア                      3. マレーシア                      4. フィリピン

問9 オーストラリアの南東部や南西部などの半乾燥地域では、羊の放牧や小麦栽培が行われている。しかし、過剰な灌漑や樹木の伐採によって地下水位が上昇し、地中の塩分が地表に集積して土地が荒廃する現象が深刻化している。この環境問題を何とよいか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 塩性化                      2. 砂漠化                      3. 裸地化                      4. 酸性化

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 サイクロン	インド洋や南太平洋で発生・発達する熱帯低気圧はサイクロンと呼ばれる。バングラデシュが面するベンガル湾は、湾の奥に向かって水深が浅く幅が狭まる地形の特徴があり、サイクロン接近時に高潮が発生しやすく、過去に何度も大規模な災害を被っている。
問2	答え 3 熱帯林	アマゾン川流域には「地球の肺」とも呼ばれる広大な熱帯林（熱帯雨林）が広がっているが、近年の開発により急速に減少している。これは二酸化炭素の吸収源の減少を意味し、地球温暖化を加速させる要因として国際的な環境問題となっている。
問3	答え 4 土壌の塩類化	乾燥地域で過剰な灌漑を行うと、地表からの激しい蒸発によって地下水が毛細管現象で引き上げられ、水に含まれていた塩分が地表に集積する。これにより作物の栽培が困難になる現象を土壌の塩類化と呼ぶ。この対策としてさらに大規模な灌漑を行うことは、状況を悪化させるため不適當である。
問4	答え 1 デジタルデバイド	情報通信技術（ICT）の急速な発展と普及は、ビジネスの効率化や生活の利便性向上をもたらした。しかし、インターネット環境の整備状況や、パソコン・スマートフォンなどの端末を使いこなすリテラシーの有無によって、個人や地域、国家間に新たな格差が生じている。この格差をデジタルデバイド（情報格差）と呼び、これが新たな所得格差や機会の不平等を生み出す要因として、現代の地理的・社会的な重要課題となっている。
問5	答え 3 マングローブ林	汽水域に発達するマングローブ林は、多様な生物の生息地や、高潮・津波から沿岸を守る防波堤としての役割を果たしている。しかし、主に先進国向けのエビ養殖池への転換などにより急速に失われており、生態系破壊や環境悪化を招く持続可能ではない開発の代表例として知られている。
問6	答え 4 液状化現象	地震の揺れによって、水分を多く含んだ砂地盤の骨組みが崩れ、水と砂が噴き出して地盤が液体化する現象を液状化現象と呼ぶ。旧河道や埋立地、干拓地などの地下水位が高く砂質の地盤で発生しやすい。これに対し、地盤が安定している台地や、周囲よりわずかに標高が高い自然堤防では発生しにくい。
問7	答え 3 酸性雨	アメリカ合衆国とカナダの国境付近に広がる五大湖周辺や大西洋岸の工業地帯では、石炭などの化石燃料の燃焼に伴い硫黄酸化物や窒素酸化物が大量に排出された。これらが大気中で化学変化を起こし、強い酸性を示す雨や霧、雪となって降下する現象を酸性雨と呼ぶ。酸性雨は偏西風によって東方に運ばれ、カナダ東部やアメリカ北東部の湖沼の酸性化や森林被害を引き起こした。これに対し、両国は1990年代に大気質協定を結ぶなど、二国間の緊密な協力体制を構築して原因物質の削減を進めてきた。
問8	答え 2 カンボジア	長年の内戦（クメール・ルージュ政権期やその後の内戦）によって大量の対人地雷が埋設されたカンボジアでは、地雷による被害が深刻な社会問題となっていました。日本はカンボジアに対し、地雷撤去のための資金や機材の供与、技術指導などのODAを行い、復興を支援しました。なお、サイクロン被害への緊急援助はミャンマー、独立紛争後の農業開発援助は東ティモールが主な対象です。
問9	答え 1 塩性化	オーストラリアの南東部や南西部では、農業開発に伴う過剰な灌漑や森林伐採により地下水位が上昇し、毛細管現象で地中の塩分が地表に運ばれて集積する塩性化（塩害）が問題となっている。これらの地域は、主に羊の放牧や小麦の栽培が行われる主要な農牧業地帯である。